北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

第50回 ひがしかわ氷まつり　議員会雪像づくり

第４回定例会・第６・７回臨時会を開催……２～３
ここが聞きたい！一般質問に６議員が登壇……４～９
意見書……10
委員会報告……11～12
町民と議会の意見交換会……13～15
議案審議結果……16～17
議会日誌……18

No.200
令和６年２月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第４回 定例会を開催

●第４回定例会を、令和５年12月14日に開催しました。
●６名の議員が、一般質問をしました。
●令和５年度一般会計の補正予算案・人事案件・条例案・連携協約締結案・被表彰者推薦・報告などについて審議し、原案可決または同意済みとしました。

第４回定例会

一般会計補正 第８号

歳入歳出それぞれ３億３２５３万円を増額し、総額は１４９億７６３２万円で、主なものは次の通りです。

歳出

①総務関係事務費
（２５０万円）
コロナ収束や町長就任に伴い、来客、出席事業、視察などの来訪者の増加による交際費、食糧費、車借上料の増額分です。

Q（飯塚達央議員）
①町長の交際費、食糧費の使途は。
②交際費、食糧費を増額する必要性は。
③交際費、食糧費をホームページに公表しませんか。

A（企画総務課長）
①交際費は、主に香典やお祝い、食糧費は、主に意見交換の懇談会などへ支出しています。

A（町長）
②町長就任一年目ということもあり、当初の想定以上に来客者が増えており、今年度は予算を増額して求めに応じていきたい。
③監査委員の監査も受けており、モラルに基づいて執行していますが、検討します。

②普通財産維持管理事業
（３５０万円）
11月27日に罹災した国際交流館の修繕費です。

③「写真の町」ひがしかわ株主事業
（１億８１０５万円）
町のふるさと納税寄附額の増額に伴い、返礼品や事務手数料などの経費の増額分です。

④奨学助成事業
（１１００万円）
申請者の増加に伴う経費の増額分です。

Q（藤倉智恵子議員）
増額の理由を教えてください。

A（学校教育課長）
当初の申請者の見込み人数より19名増えることが見込まれたための増額です。

⑤新型コロナウイルス感染症対策事業
（４６００万円）
物価高騰に伴う経済対策支援としてＨＵＣカードによる消費拡大施策と肥料購入金額を補助する農業者への支援です。

Q（杉本岳大議員）
肥料の購入補助は小規模農家を特に手厚くできませんか。

A（町長）
経営規模の大小による経営状態は加味せず、肥料の購入量に対して均等に支援する考え方です。

⑥社会福祉対策事業
（１億３３９７万円）
住民税非課税世帯等に対する臨時給付金に町独自の上乗せ分を加えた経費です。

⑦中学校維持管理事業
（５０４万円）
中学校校舎へのエアコン設置改修の基本設計などの経費の増額分です。

Q（鶴間松彦議員）
①エアコン設置は夏に間に合いますか。
②簡易的なエアコンは設置できませんか。

A（教育長）
①エアコン設置は令和７年度の工事予定です。
②体育館や保健室に先行して簡易的なエアコン設置を検討します。

条例の一部改正

①東川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定
②東川町幼児センター条例の一部を改正する条例の制定

Q（鶴間松彦議員）
①認定こども園への変更に伴うメリットはありますか。
②園児の増加が予想されるなかで、更なる事業所への支援は考えていますか。

A（教育長）
①事務作業が多少、合理化できます。
交付金も、特に変更ありません。
②現段階では、新たな支援は考えていません。

連携中枢都市圏形成に係る協約の変更

旭川市との連携中枢都市圏形成に係る協約の一部を変更

Q（杉本岳大議員）
旭川市の当番医にかかる経費を一部負担という認識でいいですか。

A（企画総務課長）
その通りです。

人事案件

東川町監査委員の選任
長原淳氏を選任するこ

とに同意しました。

Q（飯塚達央議員）
長原氏が副町長を退任されて間もないが、公平性をもって職務を遂行できますか。

A（町長）
行政知識も豊富で厳しく審査できると思います。

Q（藤倉智恵子議員）
3年前まで副町長の職にあった者が監査委員に就くことについてどのように考えますか。

A（町長）
副町長の職にいた者が監査委員に就くことはあまり例が無いことですが、監査委員は業務も多忙であり、担い手も不足しているなかで長原氏は行政知識もあり適任であると考えています。

被表彰者の推薦

特別功労表彰
高橋　昭典　氏

自治功労表彰（消防功労）
勤続35年
林　克政　氏
勤続25年
中田　博之　氏
勤続20年
宮﨑　充嗣　氏
勤続15年
藤川　晴貴　氏
佐竹　国広　氏
堀部　祥広　氏
勤続10年
滝本　旭人　氏
古高　良記　氏
砂金　宜秀　氏
石山　一樹　氏

第6回臨時会

（10月26日）

一般会計補正 第6号

歳入歳出それぞれ2689万円を増額し、総額は146億4379万円です。

歳出

①魅力発信事業
（2500万円）
「日本人の心」3巻の発刊に係る経費です。

Q（飯塚達央議員）
①町が発刊する意義は。
②発刊に係る財源は。

A（経済振興課長）
①著者の近藤誠一氏などと深い繋がりがあり、書籍の中でも東川町をPRすることができ意義があると思います。
②個人・企業からのふるさと納税制度で発刊に対して総額2500万円の寄付金を原資としています。

診療所会計補正 第3号

歳入歳出それぞれ120万円を増額し、総額は4億9355万円です。

大規模改修等事業
（120万円）
スプリンクラーヘッド設置工事費です。

請負契約

①天人峡温泉廃屋施設石綿除却等工事請負契約
（4億8400万円）
現在廃屋となっている「天人閣」・「天人峡グランドホテル」の令和6年度実施予定の除却工事前の石綿と残置物を撤去する費用などです。

Q（薦田敏次議員）
アスベスト除去の免許のある業者ですか。

A（都市建設課長）
資格免許のある業者を指名しております。

Q（杉本岳大議員）
指名競争入札者が11社と普段の入札より多いのは。

A（都市建設課長）
予定価格が4億円超の金額であったため、通常の指名数であると、疑念が生じてはいけないと考え東川町、旭川市にある業者11社を選定しました。

②指定避難所防災機能強化ふるさと交流センター内部改修工事請負契約
（5500万円）
ふるさと交流センターへの東川町しごとコンビニ移転に伴う改修工事と施設全体に冷房設備を設置する費用などです。

人事案件

農業委員会委員
欠員により高倉直樹氏を任命する。

第7回臨時会

（11月24日）

一般会計補正 第7号

歳入歳出それぞれ増額なし、総額は146億4379万円です。

歳出

①適疎なまち推進事業
（754万円）
ライスレジンごみ袋製作業務の委託料などです。

診療所会計補正 第4号

歳入歳出それぞれ384万円を増額し、総額は4億9739万円です。

下水道会計補正 第1号

歳出を21万円増額し、収益的支出の総額は1億9087万円です。

条例の一部改正

①職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

②東川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

③議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

④特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について

一般質問 ここが聞きたい

（7議員が登壇）

問 公営住宅の電気・リース料の負担軽減を

答 まずはリース契約撤廃を北電と協議中

杉本　岳大

（一問一答方式）

質問

オール電化の公営住宅の電気温水器や電気蓄熱暖房機などの毎月のリース料とそれにかかる電気料金が住民にとって負担が重くなっています。

暖房や給湯設備を電気料金より安価なエネルギーである灯油を使用する機器などに設備を改修することを検討しませんか。

平均毎月6千円、年間72千円かかっている北海道電力とのリース契約を撤廃できませんか。

高額な電気料金の負担について町民から町へ相談はありませんでしたか。

町長

オール電化の公営住宅に住む町民から相談や問い合わせがあることは把握していましたが、具体的な対処は進んでいませんでした。

元々、町の負担が無く設備の設置工事と維持管理を全て北海道電力の負担とする工事契約としていました。

入居者と北海道電力との機器のリース契約としているが、導入から10年を超える契約となっているので撤廃できるか北海道電力と協議中です。

現在、町営住宅の全体の4割弱がオール電化住宅で灯油設備などに改修すると工事費が全体で1億4000万円ほどかかる試算も出ています。

他の住宅に倣い給湯器を町が設置すると、個人で灯油暖房機、調理器の設置を求めたり、住いの利便性向上により賃料の改定を求めることも想定され、すぐにすべての設備を改修することは難しいです。

質問

賃貸住宅であれば、設備の設置は家主の負担が当たり前であるが、改修工事費が過大にかかることが問題であれば、灯油ストーブなどをリース契約とし、工事費問題を解決できませんか。

町長

現在は電気料の負担感が強いが、将来、電気料金よりも灯油代の方が高騰し逆転現象となることもあるので改修には慎重とならざるを得ないです。

質問

サテライトオフィスなどの町の施設も同様に企業や入居者に負担を求めているのですか。

町長

公営住宅以外の施設については賃料に含めており、設備は全て町で設置・維持管理をしています。

質問

町の一年間の約150億円の会計予算から、町民の生活を改善するためにお金を振り分けることはできませんか。

予算確保が難しいのであれば、ふるさと納税の基金や複数年に渡って予算を確保するなど工夫し、町民のためにも公営住宅の設備を改修しませんか。

町長

オール電化の公営住宅だけ設備改修を行うと、オール電化以外の公営住宅との不公平感が出るなどの解決しなければならない別の問題が生じることも考慮しなければなりません。

質問

入居者個人で網戸を設置することや共同設備の電気料金や駐車場の除排雪料金の集金や支払い管理を入居者から取り除くことはできませんか。

町長

一般住宅に住む町民も個人で料金を負担・管理しているものなので公営住宅の入居者には、ご理解頂きたい。

問 間口除雪の対象の拡大は

答 事情がある世帯は対象

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問　子どもと同居していても仕事の事情などでできない世帯もありますので、同居している高齢者を対象外にする基準を改めませんか。

町長　そこまで拡大すると高齢者のいない世帯でも同じことが言えるので、理解が得られるか考えなければならない。

体制も変える必要があるので、機械と職員を全て補充増強しなければならなくなります。

質問　無条件に除外することではなく、子どもがいても申請をしていただいて、その世帯と相談の上で、町がこの世帯は除雪が必要だなと判断した場合は、補助の対象にするのはどうですか。

町長　一律に65歳以上で切るということではなく、特別な事情があるところについても間口除雪については内規を設けております。

質問　除雪サービスの実施を町民にお知らせする場合に、例外もあることをもう少し親切丁寧にわかりやすく書き、申請時に相談できるような内容に改善できませんか。

町長　状況を見ながら考えて周知をさせていただき、申請を受け付けるという方法でやっています。

しっかりと制度の内容を理解できるようにわかりやすい情報の周知に努めていきます。

間口除雪サービスの実施について

町では住宅が密集している市街地地区にお住まいの対象世帯で、自力での除雪が困難な世帯に間口除雪事業を実施しております。

申請期限：令和５年 10 月 27 日（金）まで

申請窓口：役場保健福祉課社会福祉室

（82-2111　内線 503）

★サービスを利用するには申請が必要ですので、

対象世帯、地域をご確認のうえ申請してください。

対象地域	対象世帯
①11 区、12 区、17 区、17 区西町、西区、第 26 の北１線から南１線までの区域 ②東町１丁目～３丁目、西町２丁目、３丁目、南町１丁目～３丁目、北町２丁目、３丁目町内会区域 ③第一・第二・第三地区の各団地内の道路に面する住宅	①65 歳以上（女性の場合は 60 歳以上）の一人暮らし世帯 ②65 歳以上の方だけで構成される世帯 ③重度障がいのある方だけの世帯 ④65 歳以上の方と重度障がいのある方だけで構成される世帯 ⑤病気やケガ等により、除雪作業が困難と認められる世帯 ※年齢・世帯要件等は問いませんが、申請内容を審査した結果、対象にならない場合もあります。 ＜重度障がいとは＞ 身体障害者手帳１・２級、療育手帳Ａ、障害者手帳１級（聴覚障害・言語障害を除く） ※以下の場合は対象となりません。 ・子等と同居している世帯（間口部分が同じ場合） ・間口部分が道道に面している場合 ・公営住宅・民間集合住宅・介護施設等への入居者

間口除雪サービスの案内文書

問 未就学児受け入れ対策と体制充実は

答 機関の円滑な連携をより進める

今　綾

（一問一答方式）

質問 移住者の増加に伴い、子どもも増え、保育園への入園希望者も増加傾向にあります。

今年度で見ると、東川幼児センターでは0歳から2歳までのクラスでは8月末時点で定員超過が見られ、新規の入園が難しい状況となっています。

次年度の認可保育園への入園希望者の人数は把握出来ているのか、定員超過になった場合の対策は考えていますか。

教育長 新年度の入園申込みでは、定員超過になることはないと見込んでいます。

今後定員超過の可能性がある場合、町内の保育園と連携を取りながら進め、場合によっては近隣町村とも連携を取っていきたいと考えます。

質問 今年度中に0～2歳児対象の保育園が新設される予定ですが、1施設の増園だけで十分な対応と言えますか。

他団体で町に保育園を新設したいという声もありますが、どのように考えますか。

教育長 町と協議をして、どのような働きかけやサポートができるか考えていきます。

質問 重度の障がいのある未就学児の町内の受け入れは、人員体制・保育環境は整えられていますか。

教育長 幼児センターは重度の障害のある未就学児の支援保育はできていません。

今後、保育士を十分に確保出来るようになった時点で支援保育が可能か検討します。

問 保育士の職場環境の整備は

答 福祉全般で考え処遇改善を検討

質問 他自治体では保育士の確保に向けて、支援に力を入れています。

札幌市では、福祉施設で働く職員に補助金が支給された事例があります。

保育士の労働条件・環境について定期的に見直しがされているのか、手当の支給はありますか。

教育長 現状では、保育士や介護士などへの金銭的な支援を町独自では行っていません。

福祉全体で対応を考えていく時期にきていると考え、町長部局とも協議していきます。

質問 子ども未来課が幼児センター内に設置されていますが、業務内容が住民に分かりやすく示されているのか、関わりやすい動線になっていますか。

教育長 子ども未来課の名称が幅広いイメージを与える可能性がありますが、主に幼児センターの事務管理と保育認定などを中心に行っています。

子ども全般の支援機能を主とする相談業務手続きは、保健福祉課が担っています。

子どもに関わる課として、保健福祉課や学校教育課もあり、それらを一本化することは難しいですが、住民への業務内容の周知に努め、手続きや相談がし易いよう改めて、動線の工夫を考えたいと思います。

幼児センター保育の様子

一般質問

問 キャンモアのリフト新設は
答 令和10年の更新時に検討

山家　祥幸

（一問一答方式）

質問

クワッドリフトは既に32年が経過しており、部品の調達が困難で、今後大規模な修繕が必要になると、億単位の修繕費がかかります。

新設のリフトに掛け替えを検討しませんか。

町長

クワッドリフトは、維持修繕費が高額で、ここ10年で3億近い修繕料をかけています。

老朽化や耐用年数を考えても、新しいリフトの整備を検討する時期であると考えています。

令和10年に搬器全台数の更新をする計画があるので、更新前に安全を確保し最低限の修繕は行い新たなリフトの架け替を視野に検討します。

問 無料休憩所の建替は
答 他の施設の在り方も含め検討

質問

現在、無料休憩所はビニールハウスを使用しています。

もっと天井が高く、床がしっかりして温かく、くつろげる施設に建て替えるべきと思いますが。

町長

平成25年に休憩所を新設しようと検討したことがありましたが、当時の試算で1億8000万円程かかるとされ、夏場の利用頻度も含めて考えた結果、見送った経過があります。

町内外を問わず低料金利用できるということでスキー授業での利用が多くなっていますが、施設を新設すると、その分料金に反映しなくてはなりませんし、いまの場所にあって気軽に利用できるのがいいとのお声もあります。

アルバータや情報センターの修繕改修も検討する時期に入ってきますので、ほかの施設の在り方も含めて、考えていきます。

キャンモアスキー場

問 放課後見守りサービスの進捗状況は

答 順次開設し充実化を図ります

尾崎　紀子

（一問一答方式）

質問　時間を見守りサービスで過ごせるのがいいという声があります。

質問　時間が5時までだとフルタイムで働く家庭は利用が難しいとの意見もありますが、今後時間を延長する考えもありますか。

教育長　あまり遅い時間帯だとスタッフの応募が少なくなるという条件もありますが、もう少し長い時間預かってほしいという声も聞きますので、できれば応えていきたいと考えています。

質問　第一地区のサービス開始は3月からということですが、もう少し早く開設できないのでしょうか。

質問　第二地区の見守りサービスが秋に開始しましたが現在の利用状況と子どもや保護者の反応は。

教育長　現在17名が登録していて、一日平均5名ぐらい利用されています。

子どもからは見守りサービス用の遊び道具が好評で、保護者からは放課後の活動までの空きが向いているのではないか、更に保護者がその学校区域の特性を理解していただけるなら、就学校の変更をできるように関係機関と話し合いを進めてきました。

その結果規則の変更が決定し、1月1日から施行する予定です。

第二小学校見守りサービス

第三小学校見守りサービス

問 学区選択制の導入は

答 1月から施行します

教育長　体育館の長寿命化工事を1月末に終え、3月1日に本格始動しますが、2月中のプレオープンを目指します。

質問　学区が東川小学校でも子どもの気質などで小規模校の方が向いていると考えるご家庭があります。

規則ではいじめなど特別な事情がある場合のみ学校を変えられるとありますが、入学前に学校を選択できるようにしてはどうですか。

教育長　就学時健診で何らかのサポートが必要となった児童についてその子の特性に応じて小規模校の方

質問　教育に対する考え方も多様になっていますし、各学校で特色も違います。

発達特性があるお子さんに限らず自由に学校を選択できるようにしてはどうですか。

教育長　まず、どういう学びをしたいのかという子どもの意志が大事で、保護者の意志も大事ですが、子どもがきちんと小規模校区域に馴染むということが判断できれば認めていきたいと考えています。

一般質問

問 町道の整備は

答 交付金要望を含め早期実施

藤倉　智恵子

（一問一答方式）

質問　西5号北3線から北6線道路の整備は道幅が狭く歩道もついていません。大型車両が走っており道路が大変傷んでいます。早急に整備していただけないでしょうか。

町長　西5号道路については、長期計画により忠別川の堤防から北7線道路まで全区間を歩道付き片側1車線の道路改良工事を現在実施しています。早期に実施ができるように国に求めていきます。

問 高校生の通学費は

答 他の政策と併せて検討

質問　旭川の高校に通う学生の定期券は月額1万1000円から1万3500円かかります。保護者の負担が大きいので、町で一部助成できませんか。

町長　今年度から小中学生に対する給食の無償化も図り、高校卒業後の進学者に奨学金も企業版ふるさと納税を活用して行っています。

町はほかの自治体と比較しても充実した子育て政策を様々な面で実施していると考えていますので、ほかの政策と併せて状況を見ながら検討していきます。

問 専門学校、大学生の奨学金は

答 奨学金制度を続けていく

質問　奨学金はいつまで続けることができますか。

町長　御支援をいただいているホクリク様とは2021年から1・6億円の寄附を10年間継続するという協定を結んでいます。

それ以降は、町で何らかの措置を考えなければならないと思っています。

●●●●●●議会を傍聴しませんか●●●●●●

次回は3月11日～18日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

議場は、役場3階、傍聴席は30席あります。
団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局　82－2111

意見書を採択し、議長名で、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣及び各関連大臣へそれぞれに送付しました。

国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

①道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設及び必要な予算を確保すること。

②防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策を計画的に進めるために必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況を踏まえ、国土強靭化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。

③高規格道路におけるミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化や、直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築など、国土強靭化に資する災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。

④橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進し、予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、維持管理・更新事業に必要な技術的支援の拡充や予算を長期安定的に確保するほか、舗装修繕等の維持管理に係る制度創設や財政支援の充実・強化を図ること。

⑤地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、子どもたちの安全・安心を守る通学路等の交通安全対策を強化・推進するとともに、冬期における安全な道路交通を確保するための道路整備や除排雪を含む安定した維持管理の充実に必要な予算を確保すること。

⑥災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

意見書を採択し、議長名で、内閣総理大臣及び各関連大臣へそれぞれに送付しました。

高温障害による農作物など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済処置をもとめる意見書

①物価高騰で生産コストが高止まりしている中、今夏の猛暑の影響で米や畑作物、野菜などの多くの作物で高温障害が生じ、農業者の収入が減少していることから、次年度以降も営農継続が図られるよう、無利子の資金融通や無利子資金への乗り換えのための利子補給などの金融対策を講ずること。

②食料安全保障の観点から、地球温暖化や気候変動に順応できる品種（高温耐性等）の開発・試験への支援並びに、自然災害による農作物被害の防止に向けて努力している生産者への支援策を講ずること。

総務文教委員会所管事務調査報告

◎実施日
令和5年11月1～2日
上士幌町・更別村

◎調査事項
上士幌町
・自動運転バスの運行状況
・町づくり会社（生涯活躍のまちかみしほろ）運営
更別村
・ひゃくワクサービス（更別スーパービレッジ構想の現状）について

◎調査の意見
今回の所管調査において視察した両町とも人口減少により産業、町のインフラを支える担い手が減少する将来を見据えて、デジタル化による労働力の負荷軽減や、新しい形のコミュニケーションづくりに取り組んでいる。現時点で高齢者に対するデジタル技術の導入はハードルが高いのは事実かと思うが、両町の担当者が言っていたのは、人口減少が進み町の運営が危機と感じた時にはすでに遅いという話であり、いまのうちから準備を進めていかなければ間に合わないということであった。
上士幌町、更別村では先進技術の導入やまちづくり会社等の新たな組織への投資により将来の活路を模索したが、アプローチは違うものかもしれないが本町においても10年、15年先を見据えた対策や投資の必要性があることを今回の視察を通じて感じることができたことを調査のまとめとしたい。

上士幌まちづくり会社の皆様と

議会改革等特別委員会所管事務調査報告

◎実施日
令和5年9月14日
当麻町議会

◎調査事項
当麻町議会
・ペーパーレス議会の現状について

◎調査の意見
閲覧ソフト「モアノート」についても実際の機器を操作させていただいたが、操作が単純で閲覧だけであれば比較的容易に習得は可能と感じた反面、画面展開が事務局任せとなることから2画面展開を用いて自ら用意した資料に基づく議論などをするためにはソフトの習得をしっかり行わなければならないと感じた。
議会は議論の場であり、機器の導入により議論がおろそかになるのは本末転倒となるが、ペーパーレス化は時代の要請でもあることから議会としても恐れずに導入に向けてしっかりと取り組んでいかなければならないと当麻町の取組みを見て改めて感じることができた。
しかしながら、安易な導入とならないよう、導入にあたっては目的や運用方法についてしっかりと議論を重ねるとともに、議員間の思いや意識の共有を図り、効率化はもちろんのこと、議会全体としてよりよい議論ができるためのツールとして利用できるよう考えていかなければならないと感じたことを視察のまとめとする。

産業建設常任委員会所管事務調査報告

◎実施日

令和5年9月26～27日

南幌町・長沼町・ニセコ町

◎調査事項

南幌町

・移住体験住宅

・子ども室内遊具施設「はれっぱ」

長沼町

・マオイ蒸留所ジン・ウイスキー製造・販売状況

ニセコ町

・ニセコ蒸留所ジン・ウイスキー製造・販売状況

◎調査の意見

南幌町の「はれっぱ」建設については、公民連携により民間の力を最大限活用できる建設手法をとっており、運営管理企業が管理するドトールコーヒーの施設内出店や、著名な玩具メーカーなどの参画による高いクオリティの施設となっていた。

企業にメリットのある立地やコンセプトを提供できなければこのような入札は成立しないかと思うが、民間企業により行政の持ちえないノウハウや資源、民間同士の繋がりを使って低コストで質の高いサービスによる運営実施が期待できるのであれば、今後の東川町の施設建設や運営面にも取り入れることを検討したらよいのではないかと感じた。

また、移住体験住宅については、技術的には北方型住宅２０２０基準を取り入れ高い断熱性、高耐久性による快適な室内環境を整えていたが、それだけではなく、ソフト面でも2週間という短い滞在期間の中で、町の特産品のＰＲや地域住民と交流を持つ機会を設けるための工夫を疑らしており本町でもハード、ソフト含め参考にしてはどうかと感じた。

ジンを製造している馬追蒸留所、ニセコ蒸留所では、国内や世界に通用する製品であるためにはその地域の特色が感じられるもので、かつ、地元の住民に愛されるものでないといけないという話があった。

本町の蒸留所の取組においてもそのような製品ができることを期待し、今後議会としても注視していきたい。

南幌町役場前

議長挨拶

町民と議会の意見交換会にご参加いただきありがとうございます。

昨年、任期満了に伴い議会議員の選挙が行われ、新たな議会構成となり議員の役割が注目されています。

また、昨年より議会改革特別委員会を設置し、さまざまな課題について議論を重ね議会改革を行っている所です。

コロナウイルス感染症が世界的に流行したことにより、４年ぶりの開催となりましたが、ご参加いただきました皆さんの貴重なご意見、誠にありがとうございました。

意見交換会に足を運んで下さいました方々の、意見や評価また励ましの声も沢山いただきましたことに対し、前に進めて行けるように努力をして参ります。

今後におきましても意見交換会や各種団体との懇談会、グループ活動など、町民に開かれた議会を目指すためにも町民の皆様のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

❶助産院の支援について

問 旭川には助産院がありますが、提携先の産婦人科医が職務困難となり、他の病院にも提携を断られ分娩ができない状況です。

東川町でも助産院での出産を望む女性たちがいますので、町でも何かの形で力添えしていただけないでしょうか。

議 行政の方に届けて何か応援できればと思います。

❷脱炭素の社会づくりについて

問 「ゼロカーボンに取り組む適疎な町宣言」をしましたが、イメージだけの活動しかしていないように見えます。

脱炭素に向けて２０５０年位までのロードマップを作る取り組みを進めるよう、町に働きかけをお願いします。

議 町も取り組みはしていますが、もう少し努力

共生プラザそらいろ　2階　活動ルーム

が必要かもしれません。ロードマップがあればわかりやすいので、町に伝えます。

❸地下水について

問 一年間で井戸が何件掘られたとか問題になるなりそうな井戸は何件あったなど、数値化してほしい。

有害物質が漏れないように管理しているのか、大量に掘って地下水がなくなることはないのかなど調査はしているのでしょうか。

議 水質の調査は5年に一回ずつ行っています。農薬関係などについては一年に一回数か所で調査をしていると聞いています。

❹大型圃場整備について

問 合理化のために大規模化するのはわかりますが、大規模化すると手間がかかり農薬や除草剤に頼る度合いが上がり、地下水の汚染にも繋がるのではないかという懸念があります。

議 昔に比べ農薬は環境と人に限りなく優しいものになっています。

町では国の定める農薬や除草剤の数値より回数も使用量も大幅に少なく取り組んでいますのでご安心ください。

❺総合経済対策重点地方交付金のHUCポイント付与について

問 支援金を全てHUCポイントにするとHUCに対応していない所や町外で使えません。

個人の自由と人権の侵害ではないでしょうか。

議 HUCポイントにしているのは町の経済を回す目的があります。

商店に売り上げを作ってもらいそれが税金として町に入り、町民の福祉などに使う財源となります。

議 今後はHUCか現金か選択できるようにするということも町から聞いています。

❻定例会の生中継について・議長及び副議長志願者の所信表明について

問 4月に「東川町定例議会の生中継配信に関する要望書」を出しましたが、その後どうなりましたか。

議 今、議会改革等特別委員会で前向きに検討しています。

問 議長・副議長が選出される際に議会運営のあり方や自分の考えや決意を、町民に所信表明をする機会を作りませんか。

議 議会内の選挙なので議員の中で所信表明をすることが基本となっていますが、町民に考えを伝え理解してもらうのも大事なことですので、次期に向けて検討していきます。

❼東川町のFMラジオ放送について

問 FMラジオを設け仕事情報、緊急情報、スーパーの安売り情報などを流すと、人口増に繋がると思います。

防災無線がなくなり東川町のアプリができましたが、高齢者はスマートフォンが苦手な方も多いので、ラジオはいいと思います。

議 FMラジオ局設置を町へ提案をします。

町でスマートフォンを貸し出しても使えな

いと断る高齢者もいると聞きますので、町にも伝えたいと思います。

❽旭川十勝道路開通を見据えた町の将来像について

問 旭川十勝道路を整備していますが、完成すると沿線に色々な商業施設ができ、町の消費者をそちらに取られる可能性もありますし、そこを通る車をいかに東川に寄り道してもらうかなど長期戦略を練る必要があるのでは。

議 将来に向けて東川をどうするのか議論する必要があると思いますので、今後考えていきたいと思います。

❾町づくりを考えるにあたって

問 町の人口は増えていますが、子育て世代や働き盛りの人口は横ばいないし減っており、増えているのはシニアですが、それも頭打ちになり減っていくはずです。

議 町の人口は微増を続けていますし、新しい分譲地も30代から40代が6割を占めているので、今のところは若い層が伸びていますが、いつまでも続くということはないと思います。

土地の造成も限界があり、空き家を利用するなどの政策に取り組んでいるところです。

❿そらいろの案内表示及び周辺の安全対策について

問 そらいろがオープンして2か月経ちますが、施設内に表示が何もないのが気になります。

トイレやWiFi、子どもの遊び場の使い方など事故対策も考え表示をしていただきたい。

また近隣の倉庫群には非常に見通しが悪いところもあるので、できる限り安全対策をしてほしい。

議 表示については、町と社会福祉協議会に伝えます。

倉庫群のところはカーブミラーの設置をお願いしていましたが、それに合わせて予算を検討していると町から回答をいただきました。

⓫東川町に移住して感じていること・望むこと

問 町ができていないことはあると思いますが、できていることを褒め合う文化も少ないと感じています。

町の良い部分も発信して共感していけたら、いい関係性で町づくりができていくのでは。

議 褒め合う文化、とてもいいことだと思います。

それを発信して行けたら、町の人間関係がますますよくなると感じました。

共生プラザそらいろ　2階　活動ルーム

（令和５年10月16日）

議　決　の　内　容	結　果
・26,888千円を増額し、総額14,643,787千円とする。 ・1,200千円を増額し、総額493,550千円とする。	原案可決 〃
・欠員に伴う委員の任命について（高倉　直樹氏）	原案同意
・天人峡温泉廃屋施設石綿除却等工事請負契約（契約金額484,000千円） ・指定避難所防災機能強化ふるさと交流センター内部改修工事請負契約（契約金額55,000千円）	原案可決 〃

（令和５年11月24日）

議　決　の　内　容	結　果
・歳入歳出を増減なしとし、総額14,643,787千円とする。 ・3,844千円を増額し、総額497,394千円とする。 ・214千円を増額し、収益的支出の予定額を190,873千円とする。	原案可決 〃 〃
・人事院勧告に基づく月例給、及び期末勤勉手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・　〃 ・人事院勧告に基づく期末手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・　〃	原案可決 〃 〃 〃

（令和５年12月8日）

議　決　の　内　容	結　果
・332,528千円を増額し、総額14,976,315千円とする。	原案可決
・スマートフォン電子証明書によるコンビニ交付サービス対応に向けた所要の改正 ・東川町幼児センターを制度上の認定こども園とするための所要の改正	原案可決 〃
・安井　繁光氏の任期満了に伴う長原　淳氏の選任（新任） ・消防功労表彰10名（林克政氏、中田博之氏、宮崎充嗣氏、藤川晴貴氏、佐竹国広氏、堀部祥広氏、滝本旭人氏、古髙良記氏、砂金宣秀氏、石山一樹氏）、特別功労表彰（高橋昭典氏）	原案同意 〃
・①夜間及び休日等における初期救急医療体制整備を圏域で取り組むための変更、施設名称の変更	原案可決
・薦田敏次議員より、意見書について趣旨説明 ・　〃	原案可決 〃
・山家総務文教常任委員長より調査活動の結果について報告 ・薦田産業建設常任委員長より調査活動の結果について報告 ・山家議会改革等特別委員長より調査活動の結果について報告	報告済 〃 〃
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出 ・東川町日台親善協会設立7周年記念台湾訪問事業に山家祥幸議員を派遣する	原案可決 〃

区　分	開　催　日	議　件　名
第７回全員協議会	令和５年12月７日	１）　町からの情報提供事項について ２）　その他
令和６年 第１回全員協議会	令和６年１月10日	１）　町からの情報提供事項について ２）　その他

第６回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和５年度　東川町一般会計補正予算（第６号）について ・令和５年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第３号）について
人事案件	・東川町農業委員会委員の任命について
その他案件	・天人峡温泉廃屋施設石綿除却等工事請負契約について ・指定避難所防災機能強化ふるさと交流センター内部改修工事請負契約について

第７回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和５年度　東川町一般会計補正予算（第７号）について ・令和５年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第４号）について ・令和５年度　東川町下水道事業会計補正予算（第１号）について
条例等	・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について

第４回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和５年度 東川町一般会計補正予算(第８号)について
条例等	・東川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町幼児センター条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・東川町監査委員の選任について ・被表彰者の推薦について
その他案件	・連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について
意見書	・国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書 ・高温障害による農作物被害など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済措置を求める意見書
調査報告	・自動運転バスの運行、町づくり会社運営について／100わくサービスについて ・移住体験住宅、子ども室内遊戯施設「はれっぱ」について／ジン・ウイスキー蒸留所について ・ペーパレス議会の現状について
その他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出 ・議員派遣について

全員協議会の開催状況

区　分	開催日	議　件　名
第５回全員協議会	令和５年10月16日	１）　町からの情報提供事項について ２）　その他
第６回全員協議会	令和５年11月18日	１）　町からの情報提供事項について ２）　その他

議会日誌

11月

1～2日　総務文教常任委員会所管事務調査
　　（上士幌町・更別村）
　7日　議会改革等特別委員会（第６回）
8～9日　監査委員・補助職員研修会（札幌市）
　10日　安全・安心でおいしい地下水サミット（東川町）
　13日　上川中央部市・町議会議長会正副議長研修会（上川町）
　17日　例月公金出納検査
　18日　全員協議会（第６回）
　24日　東川町議会第７回臨時会
　　町民と議会の意見交換会（共生プラザそらいろ）
　27日　定例会前各常任委員会
　28日～12月２日　町村議会議長会全国大会（東京都）

町民と議会の意見交換会

令和６年東川消防団出初式

12月

7日　全員協議会（第７回）
　　議会運営委員会（第７回）
8日　議会改革等特別委員会（第７回）
14日　令和５年東川町議会第４回定例会
21日　例月公金出納検査
22日　広域連合・一部事務組合定例議会（美瑛町）

１月

5日　東川消防団出初式
7日　二十歳を祝うつどい
10日　全員協議会（第1回）
　　議会改革等特別委員会（第８回）
12日　議会報編集特別委員会（１回目）
　　新春の集い2024
18日　議会報編集特別委員会（２回目）
19日　第50回ひがしかわ氷まつり議員会雪像づくり
24日　議会報編集特別委員会（３回目）
25日　例月公金出納検査
26日　上川中央部市・町議会議長会定例会議（当麻町）

令和６年二十歳を祝う集い集合写真

会議の記録はせんとぴゅあII閲覧室とホームページで見ることができます。